

道路・橋梁リスクの調査データ集積を加速 エリア拡大・データ取得体制強化に向け3D探査車両を増強

土木テックで50年後、100年後のインフラを守る会社、土木管理総合試験所（所在地：長野県千曲市）は、「ROAD-S（ロードス）」という、道路、橋梁、トンネルなどの「空洞化」や「わだちぼれ」など、アスファルト内に存在する様々な目視で確認できないリスクを、3DレーダとAIにより自動解析できるサービスを提供しています。今回、その道路の診断データの取得量を拡大してビッグデータ化をさらに推進するため、4台目となる3Dレーダ探査車の開発に着手いたしました。7月を目途に運用開始する予定です。

【道路診断データのビッグデータ化を推進】

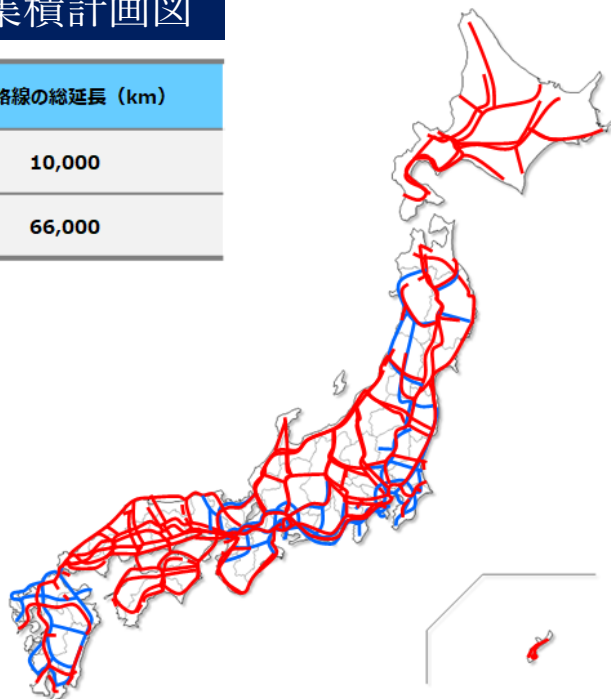
これまで試行導入先の市町村・都道府県等、道路管理者の皆さまのご依頼にお応えする形で市町村道・都道府県道等のデータ集積を進めて参りましたが、ニーズの変化・拡大に伴い、試行導入先の自治体の皆さまのご指定エリアに加え、2年計画で高速自動車国道・一般国道の調査データ取得を強化し、ビッグデータ化を集中的に進めることといたしました。

これにより、高速道路会社各社、国土交通省のインフラメンテナンスに関わる皆さまにおいても、当社が取得したデータパッケージから必要な診断データを取得することが可能となり、道路を利用される皆さまの安心・安全な生活に寄与することができます。

ROAD-S データ集積計画図

分類	管理路線の総延長 (km)
日本高速道路(株) NEXCO	10,000
国土交通省	66,000

— 2020年調査計画路線
— 2021年調査計画路線



〈報道関係者からの問い合わせ先〉

土木管理総合試験所 広報事務局（カーツメディアコミュニケーション内） 担当：出口・丸橋・加藤・森島

TEL：03-6261-7413 FAX：03-6701-7543 E-mail：info@kmcpr.co.jp

【探査車両を増強してデータ取得を強化】

当社は全国あらゆる道路の地表・地中の調査データを取得するため、3D探査車両（RSV：Road Scan Vehicle）を開発・運用して参りました。この度、調査エリアを拡大し、データ集積を加速することを目的に4台目となる「RSV4」の開発に着手し、現在車両製造段階に入っております。RSV4は、7月からの運用開始予定です。

■RSV



■RSV2



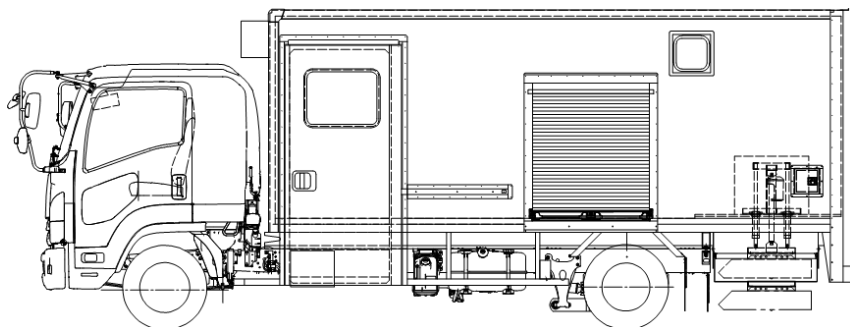
乗用車タイプのRSV，RSV2は3D地中レーダならびに地表面計測のためのラインカメラを搭載した仕様です。

■RSV3



トラックタイプのRSV3は3D地中レーダに加え、地表面計測を更に高精度・高密度で計測できる赤外線3Dレーザーカメラを搭載しています。

■今回開発のRSV4



今回、開発に着手したRSV4は大型の3D地中レーダを搭載したトラックタイプであり、北日本エリアを中心としたデータ集積に活用していく予定です。

〈報道関係者からの問い合わせ先〉

土木管理総合試験所 広報事務局（カーツメディアコミュニケーション内） 担当：出口・丸橋・加藤・森島

TEL：03-6261-7413 FAX：03-6701-7543 E-mail：info@kmcpr.co.jp